

船リール（SC小船800HD/1000HD）糸巻学習方法

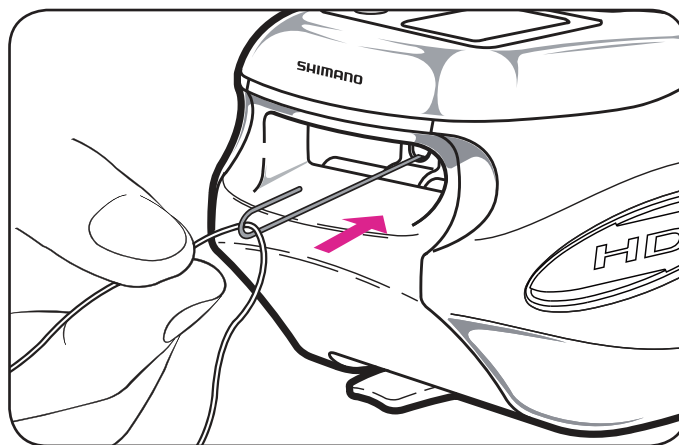
| 商品コード | 年式 | 品番 | 写真 |
|-------|-------|--------|--|
| 02914 | 2012年 | 800HD |  <p data-bbox="1010 1186 1837 1259">SC 小船 800 HD / 1000 HD</p> |
| 02915 | 2012年 | 1000HD | |

■学習方法（使用するラインの実測値をリールに記憶させます。）

最初に糸を巻く時や糸を巻きかえる時は、下記の操作を必ず行なってください。

このリールは、スプール回転と糸巻量の関係をマイコンに記憶させるしくみになっています。操作は、必ず以下の順番に従って行なってください。

1 糸をセットします。



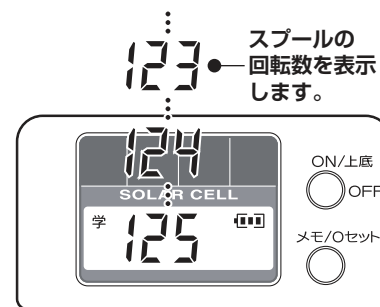
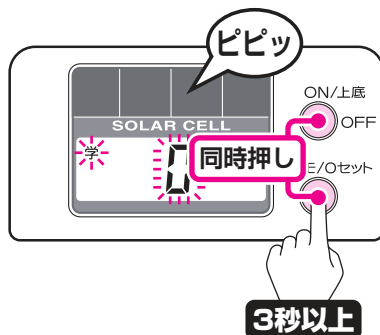
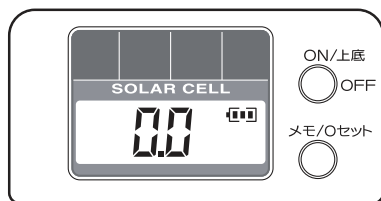
1 付属の糸通しピンで、図のように糸をレベルwindに通します。

2 糸をスプールのピンに結んでください。

3 1～2回ハンドルを正転させスプールに糸がすべらずに巻けることを確認してください。

2 その1 PEライン(新素材糸)を巻かれる場合(学習モードを使用します。)

ナイロン糸(メーターのマーカのない糸)を巻かれる場合は9~10ページをごらんください。
下巻を行っての学習も可能です。(下巻モード・11ページ参照)



- 1 電源 ON を確認してください。
液晶表示が点灯していると、電源 ON の状態です。点灯していない場合は、ON/上底・OFF ボタンを 3 秒未満押しして電源を ON にしてください。

電源を OFF する方法

約 1 時間リールを動かさなければ、自動的に OFF になります。ご自分で OFF にされる場合は、ON/上底・OFF ボタンを 3 秒以上押し続けてください。

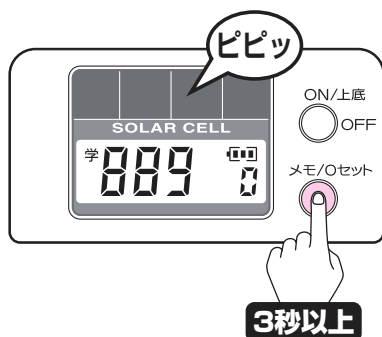
- 2 2つのボタンを両方同時に3秒以上押すと「学」(学習)が点滅して学習モードになります。
※この状態でON/上底・OFFボタンを押しますと、押すごとに次の下巻モード(「下」が点滅)→標準画面へと変化します。誤って押ししてしまった際は標準画面まで戻ってやり直してください。

- 3 糸を巻いてください。
糸を巻きはじめると「学」(学習)が点灯に変わり、回転数が表示されます。実際に釣りをするときと同じくらいのテンションで糸を巻いてください。(約800gのテンションを目安にしてください。)

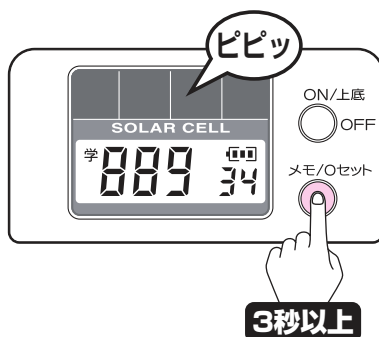
ご注意：3号以下の細いPEラインを使われますと、巻き過ぎたり、バックラッシュの際に、スプールとフレームのすき間で糸ガミする恐れがありますのでご注意ください。

■学習方法（使用するラインの実測値をリールに記憶させます。）

※カウンター内の数値は例として表示しています。実際に巻かれる場合と同じ数字を示すわけではありません。

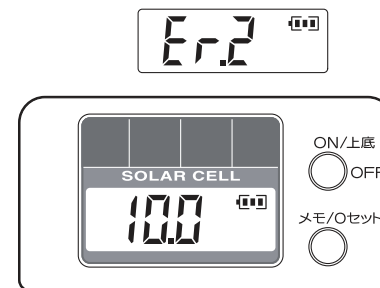


- 4** 糸を完全に巻き終えたら、メモ/Oセットボタンを3秒以上押してください。表示は図のように点灯します。糸を正確に10m分引き出します。（糸の10mごとの色の変化、もしくは1mごとのマーカーの数で確認します。）糸を出しすぎた場合は10mまで巻き取ってください。



- 5** 回転数が画面右に表示されます。学習を終了するため、メモ/Oセットボタンを3秒以上押してください。※各入力途中でON/上底・OFFボタンを誤って押してしまった場合、途中のデータはキャンセルとなり、標準画面に戻ります。この場合、糸を出して**2**からもう一度やり直してください。

※糸巻学習が不正確な場合、「Er.2」が表示されます。再度学習をおこなってください。



- 6** 表示は標準画面に戻り、学習は完了です。（カウンターの数値と実際の糸の出た長さとは最大で±3%の誤差が生じる場合があります。）※誤差とは学習後最初の1投目の誤差です。※糸巻学習操作が不正確な場合、「Er.2」（上図）が表示されます。お手数ですが、再度学習をおこなってください。

- 7** 引き出した10m分の糸を巻き取ってください。

その2 ナイロン糸(メーターのマーカのない糸)を巻かれる場合 (学習モードを使用します。)

※カウンターの数値は例として表示しています。実際に巻かれる場合と同じ数字を示すわけではありません。



- 1** 学習に入る前にあらかじめ巻く糸と同号数の10m分の糸をご用意ください。
電源ONを確認してください。
2つのボタンを両方同時に3秒以上押すと「学」(学習)が点滅して学習モードになります。

※この状態でON/上底・OFFボタンを押しますと、押すごとに次の下巻モード(「下」が点滅)→標準画面へと変化します。誤って押してしまった際は標準画面まで戻ってやり直してください。

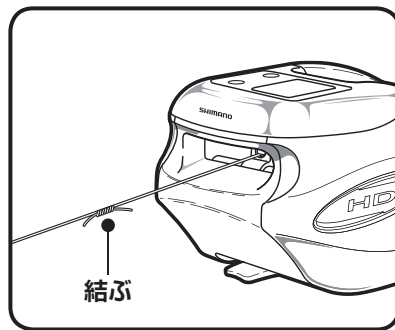
- 2** 糸を巻いてください。
糸を巻きはじめると「学」(学習)が点灯に変わり、回転数が表示されます。実際に釣りをするときと同じくらいのテンションで糸を巻いてください。(約800gのテンションを目安にしてください。)

- 3** 糸を完全に巻き終わったら、メモ/Oセットボタンを3秒以上押してください。
表示は図のように点灯します。

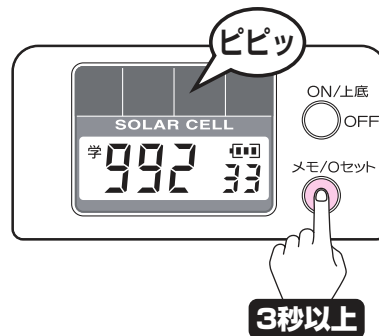
次ページにつづく →

■学習方法（下巻きを行っての学習が行えます。）

※カウンター内の数値は例として表示しています。実際に巻かれる場合と同じ数字を示すわけではありません。

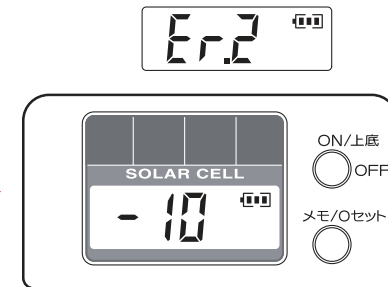


- 4** 巻き取った糸の先に長さ10mの別の糸を結びつけて、結びつけた糸を手巻きで巻き取ります。



- 5** 回転数が画面右に表示されます。学習を終了するため、メモ/0セットボタンを3秒以上押してください。
※各入力途中でON/上底・OFFボタンを誤って押してしまった場合、途中のデータはキャンセルとなり、標準画面に戻ります。この場合、糸を出して1からもう一度やり直してください。
※糸巻学習操作が不正確な場合、「Er.2」（右上図）が表示されます。お手数ですが、再度学習をおこなってください。

※糸巻学習が不正確な場合、「Er.2」が表示されます。再度学習をおこなってください。

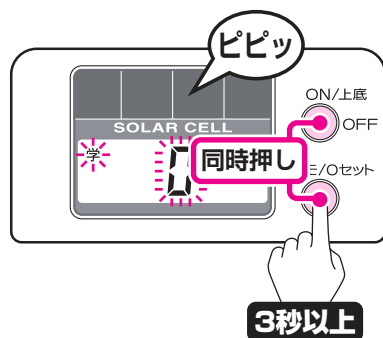


- 6** 表示は標準画面に戻り、学習は完了です。（カウンターの数値と実際の糸の出た長さとは最大で±3%の誤差が生じる場合があります。）
※誤差とは学習後最初の1投目の誤差です。
- 7** 結びつけた糸を引き出して、取りはずしてください。

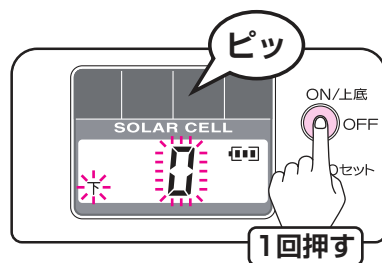
ご注意：ナイロンラインは、巻き上げ繰り返しのテンション変化にてPEラインより誤差が大きく、3%以上あります。使用される際は、穂先の巻き込み等に注意してください。

その3 下巻きを行って学習する場合 (下巻モードを使用します。)

スプール下巻き目安ライン、または下巻きゲージの使用により
それぞれ下表の号数を巻くことができます。



- 1** 2つのボタンを両方同時に3秒以上押し
て学習モードに入り、続けてON/上底
・OFFボタンを1回押してください。
「下」(下巻)が点滅、図のように表示され、
下巻モードになります。
※ON/上底・OFFボタンを必要回数以上
に押しますと、標準画面に戻ります。誤っ
て押しってしまった際は標準画面から上記
の操作をやり直してください。

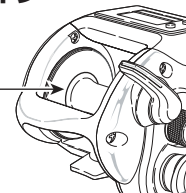


- 2** 右図の要領で下巻き用の糸を巻いてください。
※下巻きを行って下表のPEラインを
巻くことができます。

| 品番 | 800HD | 1000HD |
|--------------------------|-------|--------|
| 下巻き 目安ライン (PE・号-m) | 3-200 | 4-200 |
| 下巻き ゲージ (PE・号-m) | 3-100 | 3-100 |
| | 3-150 | 3-150 |
| | 4-100 | 3-200 |
| | 4-150 | 4-150 |
| | 5-100 | 5-100 |

●下巻き目安ライン 使用の場合

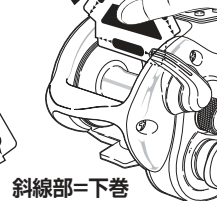
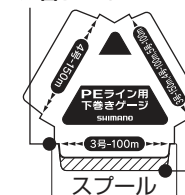
スプールの
下巻き目安ライン
まで下巻します。



●下巻きゲージ使用の場合

号数マークを
スプール外周
に合わせる

垂直に
差し込む

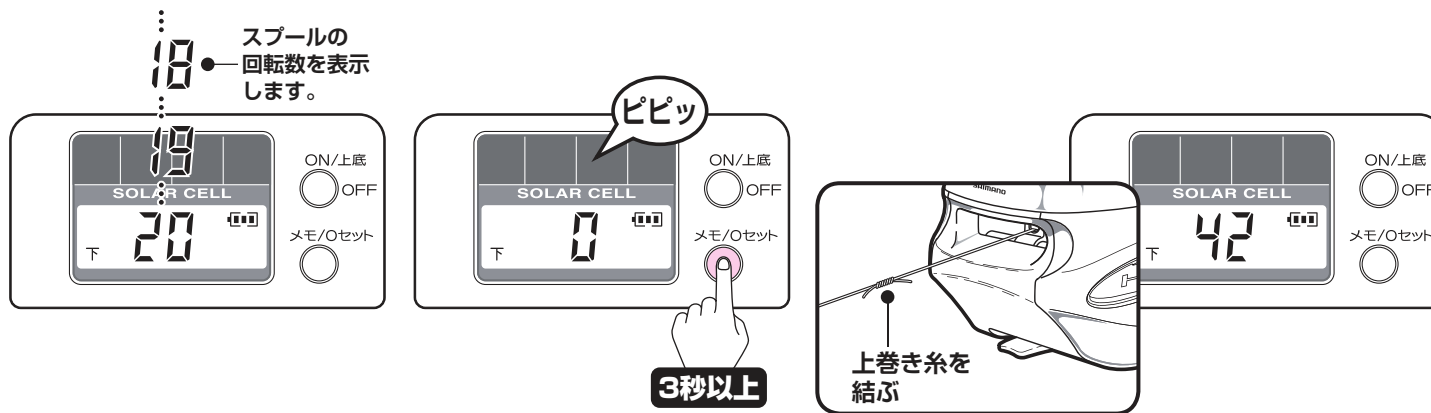


上図のように付属のゲージをスプール
に垂直に差し込み、号数マークをスプー
ルの外周に合わせます。スプールとゲー
ジの間にできたすき間(図の斜線部)が
下巻をする範囲です。ゲージに当たる
まで下巻をしてください。

※SC小船の下巻きゲージは、SLS小船XH、
SLS小船のものと共通です。

■学習方法（下巻きを行っての学習が行えます。）

※カウンター内の数値は例として表示しています。実際に巻かれる場合と同じ数字を示すわけではありません。



3 糸を巻きはじめると「下」（下巻）が点灯に変わり、回転数が表示されます。実際に釣りをすると同じくらいのテンションで糸を巻いてください。（約800gのテンションを目安にしてください。）

4 下巻き糸を巻き終わったら、メモ/Oセットボタンを3秒以上押ししてください。表示は図のように点灯します。巻き取った糸の先に上巻き用の糸を結びつけます。

5 上巻き糸の初めの10m分を巻き取ります。回転数が表示されます。

※カウンター内の数値は例として表示しています。実際に巻かれる場合と同じ数字を示すわけではありません。



- 6** メモ/Oセットボタンを3秒以上押してください。
表示は図のように点灯します。

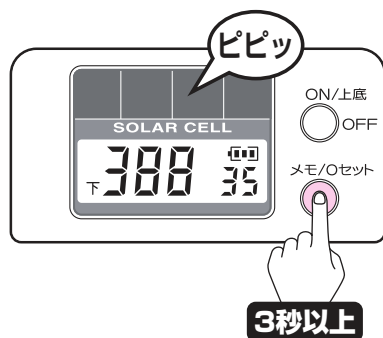
- 7** 上巻き糸を学習するため、残りの糸を巻いてください。
回転数が表示されます。
実際に釣りをするときと同じくらいのテンションで糸を巻いてください。
(約800gのテンションを目安にしてください。)

- 8** 糸を完全に巻き終わったら、メモ/Oセットボタンを3秒以上押してください。
表示は図のように点灯します。
糸を正確に10m分引き出します。
(糸の10mごとの色の变化、もしくは1mごとのマーカーの数で確認します。)
糸を出しすぎた場合は10mまで巻き取ってください。

次ページにつづく 

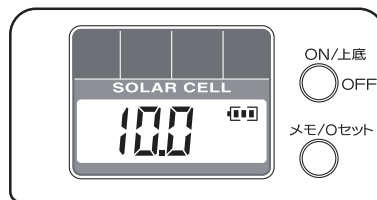
■学習方法（使用するラインの実測値をリールに記憶させます。）

※カウンター内の数値は例として表示しています。実際に巻かれる場合と同じ数字を示すわけではありません。



- 9** 回転数が画面右に表示されます。
学習を終了するため、メモ/0セットボタンを3秒以上押してください。

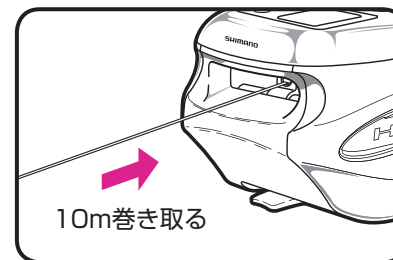
※各入力途中でON/上底・OFFボタンを誤って押してしまった場合、途中のデータはキャンセルとなり、標準画面に戻ります。この場合、糸を出して**11**からもう一度やり直してください。



- 10** 表示は標準画面に戻り、学習は完了です。

(カウンターの数値と実際の糸の出た長さとは最大で±3%の誤差が生じる場合があります。)

※誤差とは学習後最初の1投目の誤差です。
※糸巻学習操作が不正確な場合、「Er.2」（下図）が表示されます。お手数ですが、再度学習をおこなってください。

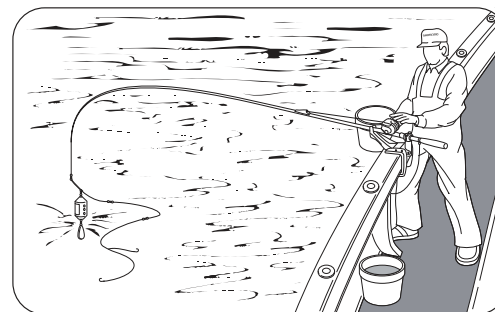


- 11** 引き出した10m分の糸を巻き取ってください。

■0（ゼロ）セットの設定（釣りを始める前に必ず行ってください。）

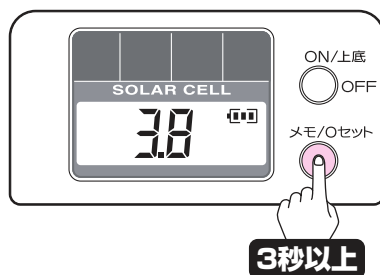
3 正確な棚取りを実現するために。

釣果アップには、正確な棚取りが不可欠です。
そこで「0セット」を設定します。
「0セット」とは、シカケが水面にある時を0mとして設定することです。「0セット」によって、シカケの位置が水深を示すようになり、正確な棚取りを可能にします。

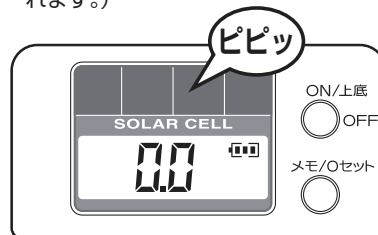


シカケが水面にある時を0mとして設定します。

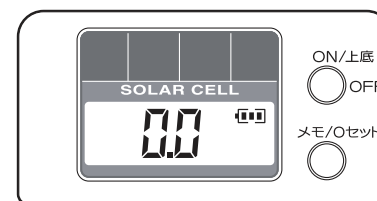
- 1** シカケを水面に合わせ、0セットボタンを3秒以上押し下さい。
(図は上からモードになっています。)



- 2** 「ピピッ」のアラーム音が鳴り、下図のように表示が変わります。
(現在の水深が6.1m以上の時はいったんメモとして受け付けますが、そのままボタンを3秒以上押し続ければ、再度0セットとして下図のように受け付け直されます。)



- 3** これで0セットは完了です。



次ページにつづく →

■0 (ゼロ) セットについて

4 0セットを設定した後に。

0セットされた状態で糸を巻くと、マイナス表示されますが、これは0セットされた位置を基準として糸が巻き込まれていることを表しています。

注意：

新品の糸を使用した場合、何回目かの釣行まで糸が伸びる場合があります。水面にシカケを持ってきても「現在の水深」が「0.0」にならない場合は再度0セットをやり直して下さい。

5 高切れした場合。

高切れした場合も同様の操作です。高切れしたところまで糸を巻き上げ、シカケをセットして、再度**3**の**1**、**2**の順で0セットを行なってください。これで、コンピュータが自動的に高切れした位置からの実測値表示にプログラムを変更します。

※途中で電源を切った場合はデータの補正はできません。学習をやり直して下さい。